

## 新たな希望を生み出し、ロータリーを楽しもう

11月の月間 ロータリー財団月間

本日の例会プログラム 第2174回例会 令和5年11月27日

・職場訪問例会 宮崎ブーゲンビリア空港ビル

## 会長挨拶



みなさん、こんにちは。先週16日から昨日まで、第50回ダンロップフェニックストーナメントが開催され、杉浦悠太選手が12アンダーで優勝しました。杉浦選手は日本大学4年生のアマチュア、アマチュアでのツアー優勝は7人目です。

アマチュアでは優勝賞金はもらえないみたいです。また、その優勝賞金は順次繰り下がってもらえるみたいです。もったいない気もしますが、22歳の若さで、アマチュアでの栄冠は素晴らしいものだと思います。プロ転向の署名で、1,542万円のベンツや宮崎牛1頭分はもらえたみたいです。

さて、12月は年次総会の予定になっております。次年度の理事役員が選出されることになっています。また、決算報告も行います。重要な例会になると思いますので、ぜひ、出席のほうを宜しくお願ひします。

この会長挨拶も以前は1週間前ぐらいから準備して、原稿も打込んで用意万端でしたが、最近は仕事以外が仕事以上に忙しく、原稿を書く暇もなく、月曜日の朝にまとめるといったようなことをして、とても慌てています。

みなさんもいろいろな週末の過ごし方をされていると思いますが、心には余裕をもって過ごしたいなと思っています。

今日も、宜しくお願ひします。

## 井上竜志会長

## 出席委員会報告

井野元孝洋委員長

## ●出席状況

## 本日状況

会員数	(54)55名
本日欠席者数	15名
本日出席者数	40名
出席率	74.07%

## 前々回修正出席状況

マークアップ数	0名
修正出席率	72.55%
マークアップされた方(敬称略)	

ニコニコ BOX	0件 累計 49,000円	0円
-------------	------------------	----

募金箱	5,482円 累計 90,702円
-----	----------------------

## 幹事報告

村野 裕幹事



- ①ポリオ撲滅募金について
- ②モロッコ地震への支援について  
池ノ上ガバナーより御礼状が届いております。

引き続きご協力のほど宜しくお願ひいたします。

義援金へのご協力有難うございました。

## 親睦委員会

平賀義浩委員



12月18日(月)年末家族懇親会を開催いたします。

シーガイアコンベンションセンター

18:30~

バス 宮崎駅東口 17:45~

多くのご参加をお待ちしております。

## 会員卓話

野田一孝会員



今回は、ちょっとした雑学を卓話いたします。

- ・日本最大砂丘は鳥取砂丘と言われていますが、実際は青森県の猿ヶ森砂丘だそうです。

現在は防衛省管轄で試験場として使用されており、一般の立入は禁止されているので正確な面積はわかりませんが、日本最大級とされています。

- ・1円玉1枚製造するのに材料費は、3円かかります。
  - ・オーストラリアのエアーズロックは、地上に見えているのは全体の5%で、95%は地中に埋まっています。一枚岩のエアーズロックは、先住民アボリジニ人の聖地とされています。この山は世界で2番目に大きな岩ですが、1番大きな山は、同じくオーストラリアに存在するマウント・オーガスタスで、大きさはエアーズロックの2.5倍はあるようです。
  - ・掃除機のコードに付いている赤いテープと黄色テープの意味は、赤いテープはこれ以上引き出してはいけない、黄色テープはここまで引き出して使用するためのもので、中に熱がこもって発火の原因となりますかも。
  - ・スーパーのレジに並ぶときは、出口に近い方がベテランの方を配置するので列の進みが早くなる。
  - ・トウモロコシの粒数必ず偶数だ。
  - ・下剤と下痢止めと一緒に飲むと、下痢になる。
  - ・布団を干した後のいい香りは、ダニの死骸ややフンの臭いだ。
  - ・ビール1杯で100万個脳細胞が死ぬ。
  - ・チョコレートを食べすぎると鼻血が出るという説は医学的に根拠はない。
  - ・日本の球場は、全て同じ方角を向いている。
  - ・アイスクリームに、賞味期限はない。
  - ・キリンビールの麒麟の絵には、カタカナでキ、リ、ンの文字が隠されている。
  - ・世界の三大がっかりスポットは、シンガポールのマーラーオン、デンマークの人魚姫像、ベルギーの小便小僧です。日本では、北海道札幌の時計台、高知県のはりまや橋、長崎県長崎市のオランダ坂です。期待が大きく膨らむのでそのギャップがあり過ぎるようです。
  - ・面積の狭い都道府県は、第5位は、神奈川県、第4位沖縄県、第3位東京都、第2位大阪府、そして第1位は香川県です。
  - ・一番多い苗字ベスト5は、第5位渡辺さん、第4位田中さん、第3位高橋さん、第2位鈴木さん、そして第1位は、佐藤さんでした。
- 以上、ちょとした簡単雑学でした。



みなさん、こんにちは。

本日は、私谷口が外国人から見た日本の凄いモノと題して、卓話をさせて頂きます。

今朝たまたま見たgoogleニュースで、【やっぱり「日本」はスゴイ…じつは「外国人」が猛烈に感動している「日本のモノ」ランキング】という記事を見つけたので、この記事を参考して、その考察をお話しいたいと思います。

それではまず、どのくらいの訪日外国人旅行者がいるのか観光庁の統計を見てみると、2003年から2012年までの10年間は平均720万人程度でしたが、2013年に初めて大台の1000万人超えてから右肩上がりで、2019年には3188万人にまで増加しております。

ところが、2020年にはコロナの影響で412万人、翌年2021年には25万人、翌々年の2022年は383万人と10分の1以下まで激減しております。

では、本年度はと申しますと、JTBが発表した2023年の見通しでは2110万人となっております。コロナに対する認識の変化や円安の影響で来日しやすい環境が整ったことが、大幅アップの要因ではないかと思われます。

それでは本題の、【外国人が猛烈に感動している「日本のモノ」ランキング】はどのようになっているのかと申しますと、

第6位は「おにぎり」です。意外と思われるかもしれません、日本でおにぎりを評価する外国人は多いようで、コンビニで簡単に手に入ることが一番の理由です。そして、具材が「ツナマヨネーズ」「チーズ」「とんかつ」というように種類が多いことも要因の一つです。

第5位は「食品サンプル」です。これは、ご存知の方も多いと思いますが、上野浅草間の「かっぱ橋道具街」で食品サンプルを売るお店は、外国人用の観光ガイドブックに掲載されています。私たちには当たり前のように日常に溶け込んでいますが、外国人から見ると日本人の器用さが生んだアートと捉えられているようです。小さなお寿司の食品サンプルは、日本からのお土産として、とても喜ばれます。

第4位は「花火」です。打ち上げ花火も、そして、手に持つ花火も、ともに、日本は世界一の水準です。打ち上げ花火の大きさ、複雑さ、カラフルさ、

派手さは、世界でも驚かれています。手に持つ花火では、「線香花火」が評判のようです。複雑に表情を変えながら燃える線香花火は、「わび・さび」の表現と受け止めたり、「ハイテク・ジャパン」と捉えたりします。日本人の多くは、手持ち花火を楽しんだ後に、一人ひとり、「線香花火」を持って、ゆっくり楽しむ習慣がありますが、多くの外国人には手持ち花火で遊ぶことはパーティーであり、お祭りなのに、その最後に、静かにゆっくりと「線香花火」を楽しむという日本人の習慣に、驚き、哲学を感じるらしいです。

第3位は「100円ショップ」です。物価の高い日本に来た外国人の、駆け込み寺としての人気のようで、日本の100円ショップの豊富な品揃えと品質は、間違いなく世界一です。100円ショップが着実に海外進出しているのは、品数の多さと品質の保証が大きいと思います。

第2位は「花見」です。満開の桜の花の下で、美味しいものを食べる趣向は、多くの外国人から支持されています。ただ、カナダ人からすると日本人が、秋になると、黄色くなった葉っぱを見にツアーを組んでやって来ることが、信じられないようです。「花を見る」という感覚は理解できても、「秋の紅葉を楽しむ」という感覚は、なかなか理解できないようで、彼らには「花は見るもの、葉は見るものではない」と分類があるようです。

また、伝統的な日本家屋は外国人に評判がいいのですが、「吊り鉢」と呼ばれる、花のない植物や苔を植えて吊り下げられたものを「醜い」と言った外国人もいるようで、花ではなく、葉や苔を飾っていることが理解できないようです。栄えある第1位は「洗浄機付き便座」です。「体験前は無意味で過剰なことだと思っていた」というレベルから、「実際に体験してみると、その快適さに驚く」というギャップ、さらには「自分の国ではなかなか広がらないだろう」という思いからの一位のようです。

特にロシアや東欧など寒い国から来た人々は、「便座が温かい」という事実に衝撃を受け、とても感動するそうです。

それから、「もったいない精神」の具現化として、トイレの給水タンクで手を洗うことができるシステムに感動する外国人も多いようです。あまり知られていませんが、世界のほとんどの

トイレでは水を流す時、「大・小」の区別がなく、エコに关心のある外国人は、熱烈に感動します。その反面多くの外国人が「フタが自動的に開くことは、必要なのだろうか?」と思っているようです。

また、日本に慣れてきた外国人は、自宅以外の洗浄器付き便座に座ったら、ものすごい勢いでシャワーが出て、飛び上がりそうになったというギャグを必ず言うそうです。たしかに、「最強」に水流を設定したままの便座を使用したら、日本人でも驚きますし、実際に私も痛い目にあった経験があります。

訪日外国人旅行者が増えることは、大変喜ばしいことですし、経済効果も数兆円に上ります。その反面の課題も浮き彫りになってきております。

1つ目の課題として挙げられるのが、いわゆる環境にやさしい観光の実現です。島国である日本には、ほとんどの外国人が空から入ってきます。現状では航空機以外の部分で削減するしかなく、国内移動や滞在に係る環境負荷を徹底的に削減する努力が産業全体として求められています。

話はそれますが、地球上の人類が排出している二酸化炭素の割合はわずか0.2%しかなく、殆どの二酸化炭素は海から排出されています。ですが、今現在の世界標準の認識では人類が二酸化炭素を排出することを抑えることが、地球温暖化を抑制する唯一の手段と認識されている昨今では、抗うことのできない課題のひとつです。2つ目は生産性です。一律のサービスではなく、観光客の個々のニーズや好みに合ったサービスが鍵であり、そうしなければ、満足度や消費額は上がらないと思います。そのためにはIoTの活用が必須ですが、その進捗が遅いところがあります。地域の担い手の方々は頭の中ではこのことが分かっていても、なかなか変われない実態をどうするのかが大きな課題です。また、地方に行けば行くほどWi-Fi環境が整っていないことも、その要因の一つでもあります。

3つ目はオーバーツーリズムの問題です。結局は、観光客は行きたいところに行くので、他に行きたいところをつくらないと本質的には集中の問題は解消しません。そして、依然として初来日の旅行者が多いことも原因だと思います。リピーターが増えれば、その問題は自ずと解消

されてくる可能性はあると思いますが、今は一部の深刻な地域を除き静観するしかないのかもしれません。同時に次の訪問の候補地をつくつて行くことで、新たな観光地が生まれたり、新たな産業が生まれたりする事で、有名観光地ではなくとも経済が活性化すると考えます。

4つ目は、都会と地方の集客の差です。仮説になりますが、アジアの方は、地方に行ってもその中の都会に留まる傾向がありますが、欧米豪の方は本当の田舎のようなところにより展開しているように思います。その背景として、欧米豪の方は積極的にコミュニケーションを取り、地域の方の話を聞くことがあるようです。また、欧米豪では秘境感や素朴さに価値を見出す人が一定数います。欧米豪は、旅行者数としては少ないのですが、そういった方に上手に訴求して単価を上げる努力をすべきだと思います。

5つ目は、言葉の壁です。最近では、公共の標識や看板に日本語と他言語の併記が一般的になりつつありますが、一方で、世界共通言語と言われる英語を話せる日本人は、地方に行けば行くほど少なくなるのが現状です。私自身も英語は話すことができませんし、海外に行くと毎回英語を話せたらもっと旅を楽しめるのにともどかしい思いをしています。それは外国人旅行者にも言えることで、ガイド無しにはコアな地方観光は難しいものとなっています。

日本になぜ英語教育が進まないのかと言うと、母国語で高等教育の受けられる国であることが挙げられると思います。多くの外国では、母国語を持たない若しくは母国語を使う教員がないのです。そのため殆どの国が英語による教育を受けることがスタンダードとなっている現状があります。では、日本はどのような対策を取っているのかというと、私が初めて英語の教科にふれたのは中学校1年生でしたが、現在は、小学校3・4年生から英語の授業が始まります。そして高校までにコミュニケーションを取ることを主体とした英語教育に変わってきているようです。少なくとも私たちが受けた教育は、文

法や単語の暗記など受験勉強を対象とした英語教育でしたが、受験に関してもコミュニケーション能力を評価するようなものに変わっているようです。

話がそれましたが、このような教育の成果が出てくるのは、今後10年以上かかると思いますが、今はその成果が出ることを期待して静観するより他ないようです。

最後にこの宮崎をインバンドを通じて地域活性化を図るにはどうしたらいいのかということですが、私が思うに二次交通産業、いわゆるタクシー業の充実が一番の課題だと感じています。タクシーの運転手が目的地への運行はもちろんのこと、英語によるガイドが出来れば、最高だと思います。実際県外からのお客さんをタクシーをチャーターして市内観光にお連れしたことがあります、本当に詳しい説明としてくださいって、感謝した経験があります。これを英語できたらどんなに需要があるか計り知れないと、それに伴って経済効果大きくなると思います。

ぜひとも宮崎のタクシー業者の皆さんに頑張って頂ければと思っております。他力本願の考察で大変恐縮ですが、この辺で卓話を終わりといたします。ご清聴ありがとうございました。

## 宮崎南ロータリークラブ

事務局 〒880-0806 宮崎市広島1丁目3-3 秀豊ビル4階  
TEL. 0985-22-6767 FAX. 0985-22-9170  
HP : <http://mm-rc.sakura.ne.jp/> e-mail : m.m-rc@alto.ocn.ne.jp

例会場 宮崎観光ホテル(毎週月曜日 12:30~13:30 開催)  
〒880-8512 宮崎市松山1-1-1  
TEL. 0985-27-1212